

私たちの町議会 **りくべつ** No. 79

発行月日・平成27年2月6日

編集・議会運営委員会

発行・北海道陸別町議会

12月定例会

平成26年度 各会計補正予算

会計名		補正額	総額
一般会計		6,719万円	46億8,882万円
特別会計	国保事業勘定	574万円	4億3,591万円
	国保直診施設勘定	100万円	4億2,497万円
	公共下水道事業	16万円	1億0,842万円
	介護保険事業勘定	1,823万円	2億8,019万円
	後期高齢者医療	△38万円	4,018万円

産業振興住宅整備へ 実施設計予算を可決

陸別町議会12月定例会は、昨年の12月16日、18日の2日間開かれました。今定例会では、条例改正案1件、補正予算案6件、意見書案2件、発議案（議員の派遣）1件、その他4件を可決し、池北三町行政事務組合議会議員の補欠選挙を行い、総務常任委員会委員を選任し、閉会しました。

補正予算質疑から

○産業振興住宅実施設計委託料 707万円

Q 具体的な設計内容と、建設費の財源見通しは。

また、食事の賄いは町直営で提供するのか。

A 1棟8戸、研修室などの共用スペースで構成される。財源としては、国の「地方創生」

施策に該当するものとして、補助を要望している。

食事の提供については民間に委託できるように、関係者と協議して行きたい。

○しばれフェスティバル開催事業補助金（婚活イベント分） 40万円

Q 祭りのイベントで終わらせるのではなく、今後町内各界と連携し、町が継続的に「婚活事業」に取り組むべきでは。

A 町内関係者の意向を確認しながら、全町的に取り組むべきかどうか、組織化も含めて検討して行きたい。

○家畜伝染病対策互助制度の創設 400万円

Q 町、農協、生産者が出して運用することだが、今年度既に発生した被害に対し、遡って適用するのか。

A 町が拠出する分については過去に遡って適用しない。

意見書案

12月定例会で2件を可決し、関係機関へ、その実現を要請しました。

○必要な介護サービスが受けられるよう求める意見書

○安全、安心な医療・介護の実現、医療・介護従事者の大幅増員と処遇改善を求める意見書

発議案

平成27年2月に、議員全員を鹿追町（バイオマス関係）、帯広市（広域消防関係）の視察に派遣することについて可決しました。



一般質問

12月定例会では1人の議員が一般質問を行い、町政を問いました。その内容を要約して掲載します。



*新商品「鹿の味噌漬け」

本田 学 議員

6次産業化への取組は

Q 加工センターにおいて、鹿肉製品、飲用乳の製造販売が行われるようになった。今後は、6次産業化に向けていく必要があるのでは。

(金澤町長)

A 加工センターは、特産品開発の中核的な施設になってきたが、まだ道半ばと考えている。酪農が主体の本町で、本業を持つ農業者が6次産業化を進めるためには、設備投資と意欲づくりが必要であり、講演会など町としても応援したい。

給食費の保護者負担は

Q 財政的な疑問もあり、実質無料とするところに反対している町民もいるが、補助する考えに変わりはないか。

(町長)

A 食育・子育て支援の観点からも全額、町が補助したい。財源については、基金の積立を行うなど、確保できると考えている。

児童・生徒にキャリア

(職業)教育を

Q 卒業後、本町に就職も地元事業所等によるキャリア教育を行ってはどうか。

(野下教育長)

A これまで職場体験のほか、ふる里教育として、ボランティアにより、しばれフェス、天文台、J A青年部、高齢者、乳幼児とその母親との交流などを行っている。

現在は、帯広青年会議所によるキャリア教育を行っているが、職業選択の一つ

として本町で働くことへの動機づけとしても地元による教育は有効だと思つ。

児童・生徒に対する土曜日の取り組みについて

Q 土曜日に社会教育の一環として、「わくわく体験」などを行っているが、今後、これを充実していく考えはないか。

(教育長)

A 教育委員会の判断で土曜日に授業ができる法改正もされた。児童・生徒の土曜日の過ごし方への取り組みについては、今後視察等も行い、PTAとも相談しながら検討したい。

池北三町行政事務組合 議会議員の補欠選挙

欠員となった池北三町行政事務組合議会議員の補欠選挙を、議長の指名推薦により行い、古田英一議員が当選しました。

総務常任委員会 委員の選任

欠員となった総務常任委員会委員に多胡裕司議員を選任しました。その後開かれた総務常任委員会で、新たな副委員長に野尻秀隆委員が互選されました。

まめ辞典

「キャリア教育」が注目されています。

これまでも学校による進路指導や、職場体験などが広く行われ、子どもの将来の職業選択にも影響する重要な教育とされてきました。近年は学校主導ではなく、少子化の時代にあっても優秀な人材を確保したい産業界が自ら働きかけ、実際に社員を講師として学校に派遣し、積極的に仕事の魅力を伝えるケースが増えているようです。

産業常任委員会報告

11月4日、陸別産乳製品開発の参考とするため、足寄町のチーズ工房2か所を視察しました。(町職員3名も同行しました。)

○ありがとう牧場しあわせチーズ工房(茂喜登牛)

牛にとってより自然に近い放牧酪農を実践する同牧場が生産する牛乳を原料に使用しており、一般の牛乳との乳質の違いによる独自の味が生かされています。
*熟成庫を地下に配した工房はコンパクトで機能的に感じました。



れています。

家族が食べていける事業規模で十分とのオーナーの言葉が印象的で、個人起業の先例として参考にさせていただきました。

*チーズを試食させていただきました。



○あしよるチーズ工房(道の駅足寄湖)

第三セクターからJAAあしよるが運営を引き継ぎ、平成26年から新体制での製造販売が開始されました。

こちらにも新たに迎え入れられた工場長が開発した、放牧酪農牛の生乳を使用した新製品群が好評で、手ごたえを感じてい

るとのことです。

工房隣接の販売所の立地や、増産に要する新たな経費など、採算ラインを見極めながら解決すべき課題の説明もあり、企業が経営する工房の取り組みとして注目されます。

総務常任委員会報告

11月4日、町立国保関寛齋診療所の運営について、所管事務調査を行いました。

医薬品の状況、保有する医療機器の現状と更新・導入の見通し、診療方針、救急患者受診の現状などについて説明を受けました。

ジェネリック医薬品の取り扱い、将来の人工透析医療実施の可能性など、診療所の運営全般について、意見を交換しました。

今後も引き続き調査・研究することにしていきます。

条例・その他の審議結果

件名	審議結果
● 十勝圏複合事務組合理約の変更について	可 決
● とかち広域消防事務組合の設立について	可 決
● 池北三町行政事務組合の共同処理する事務の変更及び池北三町行政事務組合の規約の変更について	可 決
● 陸別町過疎地域自立促進市町村計画の一部変更について	可 決
● 陸別町国民健康保険条例の一部を改正する条例	可 決

第4回臨時会

12月1日に開会された第4回臨時会では、専決処分
の承認を求めることについて1件、条例改正案3件、
補正予算案4件を審議し可
決しました。

■可決した条例

- 職員給与に関する条例の一部を改正する条例
- 特別職の職員給与に関する条例の一部を改正する条例
- 教育委員会教育長の給与及び勤務時間等に関する条例の一部を改正する条例

■補正予算の主なもの

- 衆議院議員選挙費（専決処分） 439万円
- 民間活用住宅建設事業補助金 2千180万円
- 職員等 person 費（国家公務員の人事院勧告に準じた増額改定）

議会の動き

〈11月〉

- 4日 産業常任委員会所管事務調査（足寄町チーズ工房視察）
- 総務常任委員会所管事務調査（国保診療所の運営について）
- 15日 東京陸別会総会（議員派遣）

*民間活用住宅建設事業を利用した住宅や民間アパートの建設が進んでいます。



〈12月〉

- 1日 議会運営委員会第4回臨時会
- 議員協議会
- 12日 議会運営委員会12月定例会
- 16日 議会運営委員会議員協議会
- 18日 総務常任委員会産業常任委員会12月定例会
- 議会運営委員会

次回の定例会は3月に開催されます。

詳しい日程等は議会事務局にお問い合せ願います。皆さんの傍聴をお待ちしております。

陸別町議会 ホームページのご案内

一般質問の録音を聞いたり、会議録などの閲覧ができるようになりました。

【陸別町ホームページ】

<http://www.town.rikubetsu.hokkaido.jp/>

ご意見をお寄せ下さい



インターネットの陸別町議会ホームページのリアルタイムが予定されています。

より良いホームページとするため、町民の皆様の見解・要望など、率直な声をお聞かせ下さい。投書、FAX、電話、どんな方法でも構いませんので議会事務局にお知らせ願います。（連絡先は欄外をご覧ください。）



12月13日に逝去された七戸一登議員のご冥福を祈り、12月定例会の冒頭に黙祷をささげました。
謹んでご冥福をお祈りいたします。